

令和6年(2024年)度 伊那北高等学校 評価表

教育目標	中・長期的目標
1 平和を希求し、真理と正義を探究する資質を養う。 2 躍如として学業にいそむ。 3 自主・自立の精神を養い、個性の伸長をはかる。 4 自由と責任を重んじ、努力を惜しまない態度を養う。	1 学習・部活動などに主体的に取り組み、将来を自ら切り拓く力をもった生徒の育成をめざす。 2 地域の実情、要望を正しく理解し、伊那北高校の将来を見据えて施設・設備を含めたビジョンを明らかにする。
	重点目標
	1 「いじめ・体罰」のない安心安全な教育環境を整え、一人一人が輝く学校にする。 2 チームとして「3つの方針」に沿った授業実践と教育課程の進化を目指す。 3 100年の歴史を礎に、地域社会と協働し持続可能な社会・学校づくりを目指す。

領域	対象	重点目標	評価項目	評価の観点	具体的方法	主な評価の材料	成果と課題	改善策・向上策	関係校務分掌	
教育活動	進路・学習に関わる指導	2 3	進路意識の醸成	生徒自ら課題を見つけ積極的に取り組み、進路に対する意識を高めることができるような機会を設定し、情報発信等を行うことができたか。	・総合的な探究の時間、学際探究、理数探究基礎、理数探究、生徒会活動、部活動等において、生徒が自ら課題を見つけ活動し、発信する取組みが行えるようにする。 ・外部と連携しながら、体験活動、講演会等の機会を設定し、積極的な取組みを促す。 ・体験活動や、外部講師を招いての講演会実施が困難な場合、それに代わるオンラインを利用した機会を設定する。 ・進路に関わる資料や冊子等を、精選した上で配布し、進路意識の醸成を図れるよう活用する。 ・オープンキャンパスやオンライン大学説明会等の情報についても、精選した上で発信していく。	生徒アンケート			進路学習指導	
			2	進路実現	進路指導計画を作成し、生徒・保護者の納得できる進路指導を教員間で連携しながら行うことができたか。	・伊那北高等学校としての進路指導方針について、教員間で共有し、生徒・保護者への丁寧な説明を行う。 ・生徒・保護者との連携を深め、生徒が自己の進路志望を明確にできるようにする。 ・第一志望の進路実現に向けての計画を作り、実現できるようにする。 ・定期考査や外部模試、昨年度の共通テスト等の結果を分析し、課題を共有し、授業や補習の機会を通じて生徒に還元する。	成保生徒 就護者 率(アンケート 満足度)			進路指導
		2	授業改善	・授業評価や学力分析を通して授業改善を行うことができたか。 ・解りやすく学習意欲を高める授業の工夫ができたか。 ・教科内連携、教科間連携による授業の効率化が図れたか。	・校内外に向けて授業を公開するなどして研修を行い、教材や授業の共有を進める。 ・授業評価の結果得られた課題を明らかにして、改善に活かす。 ・ICTを活用して、①授業内容の改善を図る。②授業の効率化を目指す。③生徒による自学自習の便宜を図れるよう工夫をする。④個人タブレットの有効な利用法を研究する。 ・教科を超えて「具体と抽象を往還する力」「事象と事象をつなげる力」「ものごとを論理立てて説明する力」をつけるため、互見授業を活発に行い、カリキュラム開発を進める。	授業評価				学習指導
		2	家庭学習指導	授業を中心とした家庭学習が行える生活習慣を定着させることができたか。	・教科を超えて課題の量や質を検討することで、3年間を見据えた体系的な家庭学習を可能にする。 ・予習復習や課題への取組みについて点検し、個人面談などをおして適切な指導を行う。 ・学習計画を作成させることで、計画的な学習を促し、家庭学習の充実を図る。	各種調査				学習指導
		2	読書指導	・読書活動を活発にすることができたか。 ・主体的・自発的な学習を支えることができたか。	・LHRを利用した「読書の時間」を実施する。 ・読書の楽しさや意義を共有するため、本と情報を提供する。 ・授業・探究学習・課題研究・クラブ活動等との連携を深める。また、探究の手法について関係部署で研究を深める。	図書貸出 数・利				図書指導
	学校生活に関わる指導	1	生徒支援体制・特別実教育	関係職員・スクールカウンセラー・SSW・子ども相談室等の外部機関・家庭が連絡を密にとり、生徒それぞれの状況に応じた適切な対応をとることができたか。	・小規模の会議から職員会まで、臨機応変に情報交換会を設定し、生徒の状況について情報共有をする。 ・スクールカウンセラーや外部機関等との連携を図る。 ・職員研修会を通じて、職員の知識・理解をさらに深める。	職員 生徒 研修 見会 係 集 約				特別支援 委員 教育
			1	生徒の健康管理	学校生活における生徒の安全管理について徹底ができたか。	・感染症対策も含め、自他の健康について適切に管理し改善していくようにする。 ・学校行事や生徒会行事を運営する際、感染症や熱中症などの対策と安全面でのアセスメントを徹底し、事前チェックと生徒の指導及び当日の危機対応を行う。 ・交通安全および盗難予防指導の実施について、生徒の自覚を促す指導と保護者への理解と協力を図りながら実施する。	生徒 アンケート			生徒 健康 指導
		1	校舎内外の美化	「エコマネジメント長野」に基づきゴミの減量や校舎内外の美化などを推進することができたか。	・ごみの分別、減量に努める。 ・日常の清掃の徹底と点検を行う。 ・部室周辺及びトイレ清掃を徹底する。 ・校外清掃を行い、地域の美化活動に貢献する。 ・電気・水道使用量の節減に努める。	ト長野 「エコ マネジ メント」 の 評価 把握				清掃 委員 会・ 学校 衛生 エコ マネ ジ 推
	学校運営	3	地域との連携	中学生及び保護者、地域の方々に本校の教育活動について理解を深めてもらうことができたか。	・5月の土曜授業公開と2月の課題研究発表会を一般に公開する。 ・中学生体験入学を実施する。 ・中学校訪問の実施、視察の受け入れ、中学生向け進路講話への対応を積極的に行う。 ・HPを有効活用し、内容の随時更新を心がけ、学校のさまざまな情報を発信する。また生徒・保護者には、必要な情報を一斉メールにより配信する。	ア来 校者 への アンケート				教務
			2 3	学校ビジョンの検討	・高校再編等も踏まえ、これからの地域の実情に基づいた、学校ビジョン、教育課程について検討することができたか。 ・大学入学共通テストや学びの基礎診断に対して、対応できる教育課程の検討がなされたか。	・本校の教育目標や3つの方針等について共通理解を図った上で、将来構想検討研修会を開くなどして、進路実現の具体的な方法について検討し、今後の本校のあり方を模索する。 ・3年目となる新カリキュラムについて、職員間での情報共有を行い、円滑に実施していくとともにブラッシュアップを図っていく。 ・大学入学共通テストについて情報収集や研究を進め、入試に対応した教育課程の検討を継続する。 ・新校を見据えた伊那弥生ヶ丘高校とのカリキュラムの統合に向けて、両校で会議や授業見学などの交流を大に行なう。	将来 像 検討 研修 会 等 の 意見 集 約			教育 課程 委員 会
1 2 3		学校評価	・学校評価システムが機能し、課題が克服されたか。	・学校評議員会、学校関係者評価などを通じて頂いた評価について、改善すべき点等検討を加えフィードバックし、その改善・実現に向け全職員で検討していく。	学校 関係 者 への アンケート 評価				学校 評価 委員 会	